

米国大統領選挙に寄せて（専務理事談話）

米国時間11月7日、民主党のジョー・バイデン氏がペンシルベニア州を制したことで、混戦の米国大統領選挙は決したと報じられました。史上稀に見る激戦となった今回の選挙に際し、米国民の民意を受けた結果として新たな大統領が誕生することに、まずは祝意を表します。順調にいけば2021年1月20日の就任式をもって、政権移行することになりますが、依然トランプ大統領は敗北を認めておらず、選挙の正当性を巡って法廷闘争に持ち込むことで選挙戦を続ける考えを示しています。米国新大統領の確定までになお時間を要することになるでしょう。

バイデン氏の最終的な勝利はもはや簡単には揺るがないと見られますが、大統領選挙の結果が完全に確定しない状況が長引けば、両党の支持者らの間でデモや暴力行為が生じることや、海外で米国を挑発するような軍事的行動が生じるリスクや、政治空白のもとで米国内での新型コロナウイルス感染症対策に遅れが生じることも懸念されることです。選挙結果の完全な確定までは、米国内外の状況は不安定な動きを続けると想定されます。その意味でコロナ禍の世界と日本、さらには国内の中小企業を取り巻く情勢は、予断を許さない状況が継続することになります。

トランプ大統領の就任以後、米国は地球温暖化対策をめぐる国際的な枠組み「パリ協定」、「イラン核合意」、世界保健機関（WHO）等からの離脱を次々に決定し、国際秩序に後ろ向きの姿勢を採ってきましたが、バイデン氏はこれらの国際協定・合意に復帰する考えを明言しています。さらに貿易政策でも、トランプ政権が引き上げた追加関税率を元に戻す考えを示していることから、国際貿易を巡る環境改善の前進も期待できます。バイデン政権の成立が米国第一主義の修正、国際協調路線への回帰の契機となり、パンデミックをはじめとする世界が直面する様々な困難に対峙する上で不可欠な、連帯の再構築につながることを願います。

今回注目されたのが、米国内に蓄積された社会分断の姿です。今回の選挙に際し、大半の調査では、全米ベースでバイデン氏がトランプ大統領を凌駕していました。それにも関わらず、トランプ大統領の再選を望む票数が予想以上の伸びを見せました。いわば“Forgotten People”と表現される人々が抱え込んだ困難と苦悩の鋭い表れです。このことは、米国固有の問題ではなく、日本を含めた全世界に共通するものです。その意味で、世界は大きな揺らぎの中にあります。

経済の根幹は人々の生活であり、その向上なしに社会の安定は成し得ません。そして、この基盤を支えているものが、世界各地の地域に根を張る無数の中小企業です。今回の選挙を目の当たりにした世界の指導者たちには、人々の声なき声に耳を傾け、名もなき一人ひとりの暮らしに思いを致し、連帯と包摂、公正と平和を重んじる人間が人間らしく生きることのできる持続可能な社会に向けて行動することを強く求めます。

.....

愛知中小企業家同友会とは

現在、愛知県下約4,150名の中小企業経営者が参加する異業種の経営者団体です。

「経営体質の強化」「経営者の資質の向上」「経営環境の改善」を目的に、国民生活に寄り添い、地域の経済・社会の担い手たる中小企業をめざした取り組みを進めています。

1. 名称 愛知中小企業家同友会
2. 会員数 4,148名（2020年11月6日現在）
3. 会長 加藤 明彦（かとう あきひこ） エイバックス(株)代表取締役会長
4. 事務局 名古屋市中区錦3-6-29 サウスハウス2階
電話 052-971-2671 FAX 052-971-5406
事務局長 多田 直之
報道担当（事務局次長）八田 剛、政策担当（事務局次長）池内 秀樹